

プリサイス™ スキン ステイプラー

再使用禁止

【警告】

- 1人の患者にのみ使用すること。
- 再加工および再滅菌はしないこと。[製品の機能を損なう恐れがある。]
- 本品の創閉鎖への使用に先立ち、スキンステイプラーの使用にかかわる外科的手順と手技について熟知していること。
- ドレナージおよび感染創又は汚染創の閉鎖を行った後は、慎重に必要な外科的処置を行うこと。[細菌汚染が存在する場合は、いかなる異物も感染を増悪させる可能性がある。]

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止（ステイプラーおよびリムーバ）
2. ステープルを打ち込む皮膚と皮下組織の間に5mm以上の間隔がない場合には、皮膚縫合用としては使用しないこと。[皮膚直下の血管、神経等を損傷する恐れがあるため。]
3. 316Lステンレススチールに含まれる金属、すなわちクロム、ニッケル、モリブデン、銅、コバルト、鉄に対して感作またはアレルギー反応を示す患者には使用しないこと。
4. 内部組織の閉鎖に使用しないこと。本品は皮膚縫合用のみに使用すること。
5. 患者にステープルを装着した状態でのMRI（磁気共鳴画像診断装置）による検査は安全性の確認がされていないので行わないこと。

【形状・構造及び原理等】

本品には、ステイプラー（プリサイス™ スキン ステイプラー）とリムーバ（プリサイス™ リムーバー）がある。
ステイプラーは、皮膚縫合のためのステンレススチール製のステープルと、ステープルを皮膚に打ち込むためのステイプラーから構成されている。なお、ステープルは、あらかじめステイプラーに組込まれている。
リムーバは、ステープルを抜去する際に使用する。

原材料

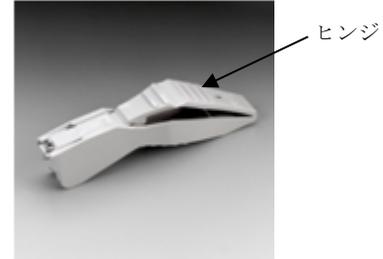
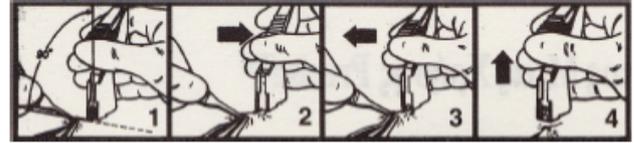
ステープル：316L（ニッケル・クロム含有）

【使用目的又は効果】

一般的外科手術、皮膚移植並びに救急医療等の皮膚縫合に用いる。
リムーバーは皮膚縫合で使用したステープルを抜去するために用いる。

【使用方法等】

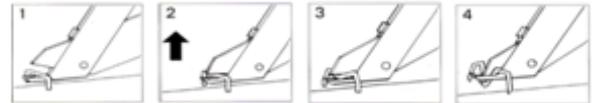
1. 縫合方法
 - 1) 皮膚閉鎖時は、創縁を合わせ、わずかに外反させる。ステイプラーを皮膚面に対して垂直（90度）に軽くあてる。あまり強く押しつけるとステープルが皮膚に深く入りすぎることがある。
 - 2) しっかりとヒンジを押し、ステープルを打ち込む。強く押しつけて打ち込むと、ステープルの除去がむずかしくなったり、仕上がりが悪くなることもある。
 - 3) ヒンジを完全にゆるめてから、ステープルを離脱させる。
 - 4) ステイプラーを皮膚面から離す。ステープルが適切に打ち込まれたかどうかを常に確認する。不適切な場合には、不適切なステープルを抜去し、ステープルを打ち直す。



2. ステープルの抜去方法

ステープルを抜去する際にはプリサイス™ リムーバーを用いて抜去する。

- 1) リムーバーの先端顎部をステープルの下へ潜り込ませる。
- 2) ハンドル部を閉じるとステープルが開く。
- 3) そのままステープルを皮膚から取り外す。



【使用上の注意】

1. 不具合・有害事象

本品の使用に関連して、次のような不具合・有害事象が考えられる。

 - 1) 創の裂開
 - 2) 316Lステンレススチールに含まれる金属、すなわちクロム、ニッケル、モリブデン、銅、コバルト、鉄に対して感作性を示す患者におけるアレルギー反応
 - 3) 感染の増悪
 - 4) 局所組織の急性炎症反応
 - 5) 創部の痛み、浮腫、紅斑
2. その他の注意
 - 1) 皮膚閉鎖および植皮術以外の用途に使用しないこと。
 - 2) ステープルを打ち込む際、ステイプラーを皮膚に強く押し付け過ぎないこと。
 - 3) 包装容器を開封後は、無菌状態を維持できないので、取り扱いに注意すること。
 - 4) 皮膚の閉鎖が確認されたら、放置せず抜鉤すること。
 - 5) ステイプラー、リムーバーは単回使用製品であるので、再使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
室温保存
2. 有効期間
使用期限：個包装及び外箱に記載 [自己認証（製造元データ）による]

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者

- * 名称：スリーエム ジャパン イノベーション株式会社

外国製造業者の国名及び製造業者の名称

米国、3M 社(3M Company)

*** 販売業者**

名称：スリーエム ジャパン株式会社

TEL：0570-011-321（カスタマーコールセンター）

ブリサイスは、3M 社の商標です。